

りっぷる Ripple

エスコープ大阪機関紙
第253号
2
24. .26

表紙
・今、私たちができること

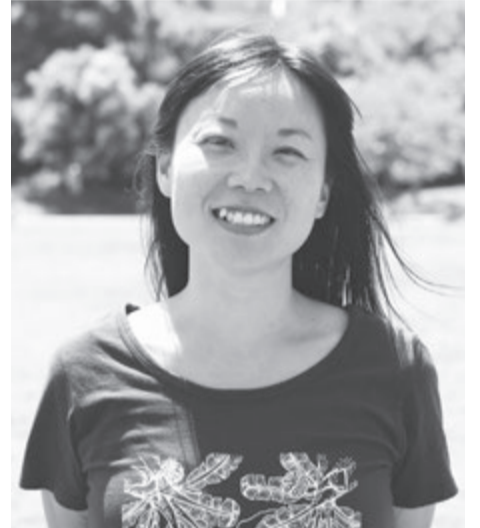
P3
・活動報告 ライフプラン講座/おやこ交流会/福祉コミュニティ
・組合員紹介 職員紹介

P2
・自分たちでつくり出した生活クラブ共済「ハグくみ」一緒に大きく育てましよう!!

P4
・次世代生産者紹介「株高橋徳治商店」
・理事会報告
・おたよりネット 編集後記

今、私たちができること

世界では自然災害で亡くなる人よりも戦争やテロなどによって亡くなる人の方が多いと言われています。パレスチナでは紛争・軍事占領が始まって70年以上が経過しましたが、問題の解決からは程遠い状態にあり、2023年10月のハマスによる襲撃をきっかけに始まったイスラエルによるガザへの無差別攻撃からますます悪化の一途をたどっています。このような状況下でパレスチナの人々はどのような暮らしをしているのか、私たちの消費財『パレスチナオリーブオイル』の生産者の現状などを特定非営利活動法人APLAの野川未央さんに伺いました。(聞き手:理事長 吉田 正美)



特定非営利活動法人APLA
(東京都新宿区)
事務局長

野川 未央さん

非人道的な状況の パレスチナ

吉田 テレビ等でパレスチナの報道を見ますが、悲惨な映像ばかりです。パレスチナの人たちはどんな生活を送っているのでしょうか。

野川 まず強調しておきたいのが、昨年10月7日から始まったのではない、ということ。1948年のイスラエル建国と翌年の第一次中東戦争によって、もともと暮らしていたパレスチナ人70万人以上が難民となり、ヨルダン川西岸地区(以下、西岸地区)やガザ地区、もしくは国外に逃げるしかありませんでした。現在危機的な状況にあるガザ地区の住民の7割以上が、1948年に故郷を追われた難民やその子孫です。さらに1967年には、ガザ地区と西岸地区がイスラエルの軍事占領下におかれ、ガザ地区に関しては、2007年から「天井のない監獄」と表現されるような厳しい軍事封鎖下の中でたびたび大規模な攻撃にさらされてきたのです。

昨年10月以降、およそ2万7千500人が殺されているとパレスチナ保健省が発表しています。そのうち少なくとも1千500人が18歳未満です。イスラエルの「自衛」という名のもとに女性や子どもたちもたくさん殺されています。命が助かっても、これまでに1千人以上の子どもが手、足を失っているという状況も見逃ごせません。

さらに、今後は爆弾や攻撃よりも、飢餓、病気で命を落とすという人が多くなるといふ懸念も伝えられています。10月7日以降、ガザ地区は完全に封鎖され、人の行き来はおろか、物資の搬入も制限されています。ガザ地区にトラックで運び込まれる物資の量もまったく足りておらず、人口の9割以上が危機的な飢餓に見舞われています。世界中で飢えに苦しむ人の8割がガザ地区の人です。このまま無差別攻撃と封鎖が続けばどれだけの人が命をつないでいけるのかわかりません。今はパレスチナも冬です。環境が悪い中、いつ自分の家族が殺されてしまうのかわからないような極限緊張状態の避難生活が続いています。

ガザ地区では学校が避難所となっていますが、その学校すらもたびたび爆撃に遭っています。そうした状況のためガザ地区の子どもたちの学びの機会は完全に奪われています。『パレスチナオリーブオイル』の生産者の多くが暮らしている西岸地区の子どもたちは学校に通うことはできています。とはい

え、いつ襲撃に遭うかわからないので常に危険と背中合わせです。昨年10月以降は西岸地区でもイスラエルによる監視や暴力がエスカレートしており、スマートフォンで映像を撮っていただけの8歳の子どもが危険行為とみなされ、イスラエル兵に撃たれて死亡するという事件がありました。

オリーブの生産で尊厳を保つ

吉田 『パレスチナオリーブオイル』の生産者の畑はどうなっていますか。

野川 パレスチナには、4千年の樹齢のオリーブの木もあるくらい、オリーブは先祖代々、人々の生活を支えてきました。以前は収穫時に家族みんなで集まって、ピクニックのようでした。しかし、そもそも自分の畑だった土地をイスラエルに奪われ、残った畑も分離壁によって行くことが難しくなったり、オリーブの木を焼き払われたり、抜かれたりということが各地で多発しています。毎年10月中旬から11月がオリーブの収穫期ですが、2023年はガザ攻撃の時期と重なって、西岸地区でのイスラエル兵や入植者による暴力が激化したことで、オリーブ生産者も危険にさらされることが多く、例年の35%くらいしか収穫できなかったようです。これでは、生産者の生計も厳しいです。

パレスチナの生産者が、「日本の皆さんがオリーブオイルを購入することでオリーブの生産を続けることができ、それによって土地を守ることができ、そして、それによって尊厳を保つことができます」と話をされています。彼らは占領という暴力の中で、それでも生産を続けています。私は毎日、1日も早い即時停戦、封鎖が解除、そして占領からの解放を願っています。

吉田 状況がすぐに変わることは難しいと思いますが、私たちは『パレスチナオリーブオイル』を通じてパレスチナの生産者とながっています。オリーブオイルを購入したり、このような現状を多くの人に伝えたり、できる支援を継続していきたいと思っています。



オリーブの苗木を運ぶ生産者。オリーブ畑の右奥には入植地が見える。

著作者:現代企画室『占領ノート』編集班/遠山なぎ/パレスチナ情報センター



A地区:行政権、警察権ともにパレスチナ(ヨルダン川西岸の17.2%)
B地区:行政権がパレスチナ、警察権がイスラエル(同23.8%)
C地区:行政権、警察権ともにイスラエル(同59%)
(オスロ合意に基づく区分け。割合は2000年のデータによる)

自分たちでつくり出した 生活クラブ共済「ハグくみ」 一緒に大きく育てましょう!!

1769年に、イギリスでは産業革命が本格的に突入し、中流階級下層の工場主(雇用主)の年収はうなぎ登りに、一方熟練労働者の賃金は長時間働いても上がらず、生活も一向に良くならない状況となりました。雇用主は「自立・自助の原則」を押し付け、病気になっても、仕事でケガをしても何も保障しませんでした。そこで、病気やケガで休んだ仲間のために「もう一杯ビールを飲んだつもりになって、そのお金をこの帽子に入れてくれ…」とひとりの労働者の呼びかけからカンパが始まり、繰り返すうちにたすけあいをもとにした労働組合が生まれ、共済の原型のような仕組みが始まりました。

以前、「CO・OP」共済は日本生活協同組合連合会(以下、日本生協連)^{※1}の元受共済事業で、生活クラブ会員単協は受託共済事業^{※3}でした。つまり組合員の掛金はすべて日本生協連に集まり、手数料は基準に従って会員単協へ配られる関係でした。これでは、生活クラブ連合会としてみんなの意思を集めて活動することにつながらないと考え、2000年に元受事業の認可を申請し、共済事業を開始。日本生協連との共同引受団体になりました。しかし、2008年に生協法の改定があり、事業分離(共同購入の事業と共済の事業を分ける)が求められました。生活クラブ連合会はその法改定に反対の立場を取りましたが、他の多くの生協は日本コープ共済生活協同組合連合会へ元受を返上。生活

クラブ連合会は「生活クラブ共済事業連合」を設立しました。生活の不安はお金の給付だけでなく、人と人がつながり、支え合う関係をつくる必要があります。「ハグくみ」はそんな地域の中でのつながりをつくり、安心の社会をつくっていきます。

※1 元受共済事業… 行政庁より共済事業の認可を得て、共済契約を引き受けて事業責任を負うこと。共同引受とは、複数の共済元受団体が、共済の対象のリスクを分担・共同して引き受けること。

※2 会員単協… 都道府県ごとに割り当てられた地域の生活クラブのこと。

※3 受託共済事業… 元受共済事業を行っている団体が実施する事業の部または全部を他の団体が受託して行うこと。

※4 日本コープ共済生活協同組合連合会… 事業分離によつてできた共済事業を専らとする連合会

生活クラブ共済「ハグくみ」が 生まれた意味とめざすもの

区分	制度内容	ポイント
加入年齢	0歳～64歳	加入受付できる年齢
満期年齢	男性 67 歳 女性 70 歳	左記年齢の満期日 ^{※1} まで同一保障
共済掛金	男女問わず 1,000 円/月	年齢が上がっても掛金変わらず
病気入院・事故(ケガ)入院	日額 3,000 円	1日目から保障 1共済期間 ^{※2} 45日分 日帰り入院も対象
手術(種類に 応じて)	2.5万・5万・ 10万円	支払対象手術を受けた 場合、日帰り手術も対象
事故(ケガ) 通院	日額 1,000 円	事故日から 90 日以内 1 日目から保障、1 共 済期間 10 日分
退院後サポ ート金	1 万円	退院後の生活復帰に一 律保障
産後サポ ート金	1 万円	健康保険の対象になら ない出産
出産祝金	5,000 円	・生活クラブ共済ハグく みより「おめでとう!!」 のお祝い金。 ・夫婦で加入していれば パパもママも申請可 能。 ・契約発効から 1 年以 内の出産での 2,500 円の削減規定はなし。
病気死亡 (重度障害)	50 万円	死亡保障を抑えた生活 重視型
事故死亡 (重度障害)	100 万円	

※1 満期日… 男性 67 歳、女性 70 歳の誕生日を
経過し、共済期間の最終日

※2 1 共済期間… 契約発効日から 1 年



みんなの支え合いの 制度から生まれた共済

2013年度に厚生労働省の認可を受け事業を開始、生活クラブ共済「ハグくみ」として独自共済がスタートしてから2022年度3月末時点で、加入者数5万571人となりました。組合員が生産者と開発してきた消費材と同様、「ハグくみ」も、組合員が参加し、自分たちに必要な保障内容を自分たちでつくり変えることができます。協同の力で生活を支え合う、たすけ合いの共同購入運動と言えます。

持病があっても、持病原因以外については保障されます。病気やケガの保障の他に、「退院後サポート金」「産後サポート金」「出産祝金」など、日常に役立つ保障が手厚いのが特徴です。特に2016年の制度改定で、「出産祝金」は、1世帯1給付だったのを夫婦それぞれが給付を受けられるようになり、妊娠中に加入しても満額給付されるようになりました。

「ハグくみ」の一番の特徴は、退院後の家事や通院サポートなどの現物給付サービスを受けることができる「生活クラブ共済ケアサービス」です。入院や出産で給付を受けた後に申請すれば、近隣のワーカーズ・コレクティブ(W・C・C)などからサービスを受けることができます。

そして、生活クラブの組合員どうしでたすけ合い、多くの組合員が加入できるように男女・年齢別のリスクを平準化した内部補助がおこなわれているから、一律の掛金なのです。

「ハグくみ」は、今年9月に制度改定を予定しています。より私たちの暮らしに合わせた制度になります。9月以前に加入している方は手続きなしで自動的に新しい内容に切り替わります。この共済を維持していくためにはおおぜいの仲間の力が必要です。あなたも仲間になって「ハグくみ」を一緒に育てていきましょう。

▶お申し込みが便利に!

24 時間 PC・スマホ等から加入
申し込みができます。

※スマホ・タブレットはQRコード
からが簡単!→

ご家族も同時加入
できるようになりました。



泉北ニュータウン地域
ライフプラン講座
 2023年11月22日(水)
 エスコープ大阪本部
 (堺市南区)
 泉北ニュータウン地域理事
 前田 美佐代

「NPO法人 Wco.」
 FFPの会「佐藤啓子さんを
 講師にお迎えして、6名の
 参加者で開催しました。
 気象庁は、「南海トラフ
 地震が発生する確率は70
 %と高く、今後30年以
 内に起こる可能性がある」と市民に警
 鐘を鳴らしています。年明けには能登
 半島地震がありました。自然をコント
 ロールすることはできませんが、被害を
 未然に防ぐ「防災」や、できるだけ被害
 を少なくする「減災」について学びまし
 た。まず初めに、わが家の防災力を知る
 ためのチェックシートに取り組みまし
 た。チェックシートに記入することで
 課題を発見することができ、家族で改
 善策を考えるきっかけになると教えて
 いただきました。次に室内の危険度を
 確認し、自宅を安全な場所にする方法



を出し合いました。また、子ど
 もは成長と共に行動範囲が広
 がります。家族の行動を把握
 することも危険度を確認する
 のに必要だとわかりました。
 リュックに詰める物や備蓄品
 の間違った保管場所なども学
 び、備蓄に適した消費材の試食
 もしました。
 参加者からは、「二重被害に
 遭わないように片づけから始
 めたい」、「チェックシートで、何を備え
 ればいいのかわかった」、「安全な場所
 (部屋)を作りたい」という感想が聞かれ
 ました。最後に福祉委員会が作成した
 フリッポボード「協同組合ってなに？」
 を使って被災体験を織り交ぜながら
 「共済の必要性」を伝えることができま
 した。これからはライフプラン講座を
 通してわが家の保障を他人(保険会社
 等)任せにしないで、自ら考え・選択する
 力を身につけることを伝えていきたい
 です。

**年に一度は、備蓄品を
 家族でチェック!!**

大阪市南・中河内地域
福祉コミュニティ
 2023年10月25日(水)
 住吉区民センター
 (大阪市住吉区)
 大阪市南・中河内地域委員
 平尾 香織



大阪市南・中河内地域の
 「福祉コミュニティ」では、
 住吉区に「みんなで集まれ
 る居場所を作ろう!」と、
 2021年から取り組んでいま
 す。今回は、「NPO法人 SEIN」代表
 理事、湯川まゆみさんに来ていた

動をされています。
 茶山台団地は高齢化が進み、自治会
 も機能せず、ひっそりとした状態に

「居場所づくり」学習会を開催しました

き、居場所づくりの具
 体的な事例のお話を
 していただきました。

湯川さんは、「日本一
 多様な幸せを実現でき
 る団地づくり」を目指し
 て、泉北ニュータウンの
 茶山台団地で惣菜屋
 「やまわけキッチン」の運
 営や、居場所づくりの活

なっていました。そこで、それまで十
 分に活用されていなかった集会所を
 利用した「茶山台としゃかん」を始め、
 パパ飲み会、子どもたちの居場所づく
 りなどを実現されました。
 活動していく中で見つけた地域の
 困りごとや課題をひとつひとつ解決
 していくことで、どんどん活動が拡
 がっていく様子がよくわかりました。
 今では団地内での交流も盛んになり、
 子どもたちの声が響くにぎやかな団
 地に様変わりしているそうです。
 運営面でも、情報発信の方法や、参

泉州地域
おやこ交流会
 2023年12月26日(火)
 和泉シティプラザ
 (和泉市)
 泉州地域理事
 宮田 恭子

泉州地域員会では
 2023年度、未就学
 のお子さんのいる親子を
 中心に、一日ゆっくり交
 流するおやこ交流会を、
 夏休みと冬休みに開催
 しました。
 冬休みの企画では、子
 どもたちは広い和室で
 のびのび遊び、和室横の長い廊下
 を歩いたり、奥の部屋を探検した
 りと楽しそうでした。少しづつ
 ているお子さんもいました。子
 育てベテランの地域委員が抱っこ
 して歩くと落ち着き、お母さんも
 ほっとされ、ニコニコとされてい
 ました。今回は地域委員の娘さん
 が参加され、お子さんたちの遊び
 を見守ってくれました。
 昼食は、クリスマスが近いので



消費材で作った温
 かい豚汁とケーキ
 にしました。「お
 手伝いがしたい」
 と少し大きいお子
 さんが調理室に来
 たので、一緒に
 ケーキをデコレ
 ションしました。
 みんなで生クリー
 ムを泡立てたり、
 飾ったりしてうれ
 しそうでした。

にぎやかに交流しました

参加した親子は、「楽しかった」
 「消費材の味見ができよかった」
 「家でも作りたい」「子どもがスポ
 ンジケーキにデコレーションさせ
 てもらえてよかった」と話されて
 いました。
 これからも親子で楽しめる企画
 をたくさん作っていきたいと思っ
 ます。

加者の方々に「自分ごと」として関
 わってもらえるような仕組みなど、私
 たちの活動に取り入れたいと思える
 ヒントをたくさんいただきました。
 当日は機器のトラブルで、開始が遅れ
 るトラブルもありましたが、湯川さん
 の情熱がとてもよく伝わる学習会と
 なりました。皆さん熱心にお話に聞
 き入っておられ、質疑応答の時間が足
 りないほどに盛り上がりました。
 今回教えていただいたことを、私た
 ちの地域拠点づくりに活かしていき
 たいと考えています。

養鶏、農業の経験を活かした生協職員へ



職員さんが
 自己紹介!!

波多野 晴太(23歳)
 エスコープ大阪在籍年数8ヵ月
 [共同購入フロア 堺支所]

私は学生の頃から養鶏を中
 心に農業について勉強してき
 ました。養鶏について学びた
 い気持ちが強くなり、愛知県の大学
 で学んだ後も、養鶏に携わる仕
 事をしてきました。その頃は、
 コロナ禍による不景気や鶏イ
 ソンフルエンザが例年よりも多
 く発生するなど、大変な時期で
 した。だからこそ生産者の気
 持ちもよくわかります。その
 経験を活かしながら生協職員
 として日々組合員の皆さんと

楽しくお話をしながら配達を
 しています。また、高校生の時
 からオーガニック食品につい
 ても興味があり、好きな商品が
 消費材として扱われていたり、
 「こんな消費材があるんだ!」
 と日々楽しみながら業務をお
 こなっています。
 最近知って気に入った消費
 材は「牡蠣味調味料」です。今
 まで使ってきたオイスター
 ソースよりも風味が強く、炒め
 物や炒飯が大変おいしくなり、
 すっかり「牡蠣味調味料」頼み
 になっています。
 まだ入協して間がないです
 が、組合員の皆さんとお話を深
 めながら消費材についても勉
 強し、親しみやすく、誰からも
 信頼される職員になりたいと
 思います。どうか応援のほど
 よろしくお願いします。

**将来子どもたちが安心して暮らせるような社会、
 希望を持てるような未来につながる活動をしたい**

紹介します!!
 うちの地域の
 組合員さんです

魚住 朱理さん
 [河内長野・大阪狭山地域]



魚住さんは、2022年
 河内長野市に転入したのを
 機にエスコープ大阪に加入
 されました。現在小学生の
 お子さんを出産した時は東
 京に在住しておられ、生活ク
 ラブが放射能の自主基準が
 厳しいと知ったのをきっかけ
 に生活クラブに加入。その
 の後、転居しても生活クラブ
 に加入し続けています。
 以前は、生活クラブの食べ
 物は安心・安全、そしておい
 しいという「自分のため」の
 理由で利用していました。

しかし、学習会や生産者との
 交流などを通して、消費材ひ
 とつひとつが消費者の要望
 を元に作られ、それが社会の
 課題解決につながっている
 ことを知り、利用することで
 社会貢献できるのだと思い、
 よりファンになったとのこ
 と。
 お気に入りの消費材は、
 『生活と自治』という組合員
 向けの雑誌です。知り合い
 に勧められて読んでみたところ、
 スポンサーがついていないため、
 「真」の情報が載っている
 ついでに、世の中にはこんな
 ながんばっている人がいる
 ことを知り、感動された
 そうです。ぜひ多くの方に
 読んでもらいたいと話され
 ていました。
 聞き手 芝本 美紀
 (河内長野・大阪狭山地域理事)

第8回
理事会報告 <1月10日>

【11月度決算報告】

- 供給高 2億1,673万円(前年同月比98.6%)
- 組合員数 18,710名(前月比+70名)
- 一人当たりの出資金 91,537円

【12月の放射能検査結果】

12月は連合消費材639検体、関西消費材3検体の放射能検査を実施しました。エスコープ大阪供給分で生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①全体区、対象地域の役員定数について
- ②(補充)役員推薦委員会の設置について
- ③「日本生協連の生協役員賠償責任保険」の加入申込
- ④パート職員就業規則の改定

【協議事項】

- ①2024年度エスコープ大阪の方針案の決定
- ②2023年度活動報告、2024年度活動方針事務局案の発送と単協意見集約
- ③2024年度機関会議日程
- ④エスコープまつり2023のまとめ
- ⑤エスコープまつり2024のすすめ方
- ⑥「2024年度方針・活動計画を地域組合員で確認する会」の取り組みについて
- ⑦次年度取り組みに向けた理事・委員研修(消費材StepUp点検学習会)の開催
- ⑧4月理事・地域委員基礎研修
- ⑨第6次米政策補強プロジェクト答申(案)への意見集約
- ⑩「2023年度Rびん回収率UPキャンペーンの振り返り」単協活動報告・意見集約
- ⑪「気候危機フォーラム(仮称)」の開催について
- ⑫「福祉・たすけあい交流集会」への参加について
- ⑬りっふる紙面と年間掲載スケジュール
- ⑭立川米の価格改定

【報告承認事項】

- ①にかほ院内風力発電の事業計画の最終案と金融機関借入実行の承認
- ②監事会中間監査意見

編集後記

「令和6年能登半島地震」の発災から間もなく2か月。いまだ1万人以上が避難所に身を寄せ、不自由な生活がされています。一日も早く復興がなされ、平穏な毎日が送れるようになることをお祈りします。

エスコープ大阪も関西の5生協と共に「令和6年能登半島地震復興支援カンパ」に取り組みます。ぜひ、カンパに協力をお願いします。(Y)



次世代生産者紹介

いっしょに創る未来

宮城県東松島市

(株)高橋徳治商店 東松島工場

取締役営業部長 高橋 敏容(としやす)さん



家業を継ごうと思ったのは、2011年の東日本大震災がきっかけです。(株)高橋徳治商店の石巻市の3工場は津波で全壊しました。少し落ち着き5月に帰った時に、生

活クラブのみなさんがヘッドロカキやがれきの撤去に来てくれました。それまで家業を継ごうと思ったことはまったくなかったのですが、組合員の方たちと一緒に作業しながら、「高橋徳治商店の製品をどうしても食べたいんだ」という声を聞き、この企業はつぶしてはいけなないと思いました。また、家族が精神的にも肉体的にも疲弊していたし、母校の生徒たちががれきの上を登校するような光景を見てみると何か地域にできることはないかとも思い、石巻に帰ろうと思いましたが。

今、水産業界は厳しい状態です。人手不足や漁獲量の管理ができていないので水揚げが少なくなっているなどの問題を抱えています。大手が残ったり、中小企業が淘汰され、二極化が進んでいます。1社ではどうにもなら

■ おいしいおでんの作り方 ■

沸騰させると雑味が出てしまうので、ゆっくりコトコトと煮るのがポイント。だしが透き通った状態がいい。

私たちは、以前から生産者と組合員が直接顔を合わせて議論し、一緒に消費材を作り、運動をすすめてきましたが、生協設立から50年以上経ち、世代変わりしている生産者も増えてきました。そこで、このコーナーでは次世代の生産者や「近畿親生会」の生産者に登場していただき、抱負などを語っていただきます。

(株)高橋徳治商店は、明治38年に石巻市で創業しました。当初はかつお節やつくいだ煮などを製造していましたが、2代目のころから練り製品を製造しています。45年ほど前、3代目の父の時に生活クラブに無添加の練り製品の供給を始めました。その当時の練り製品は食品添加物を使って安く

が当たり前でした。

ないので、石巻市にある170〜180社ほどの水産関係の会社の息子世代(30〜40代)で、横の連携(協同体)を築き、人や技術、販売先、情報、原料などを共有することで乗り切ろうと考えています。集まっているメンバーは未来を見ている人が多いので、そういう人たちとタックを組んで消費材ができたらいいなと思っています。練り物を作る高橋徳治商店、そして原料の魚を獲る会社、端材を活用する会社など連携し、石巻でローカルSDGsを展開していきたいと動き始めています。ぜひ、でき上がったら生活クラブに供給したいと思っています。

この企業は「がんばり」が足りない

おたよりネット

「りっふる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

251号4面「組合員の皆さんとの交流で誇りが持てました」を読んで

紙面モニターMさん

市販のこんにゃくとエスコープ大阪のこんにゃくは、食感が違うと思っていました。その理由を今回知ることができました。また、エスコープまつりや産地訪問等の交流が生産者の方たちの活力になっていることもわかりま

した。来年のエスコープまつりでは意識して話しかけていこうと思います。こんにゃくはあまり食卓に上がりませんが、これからは増やしていきます。

Ripple おたよりネット

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事會事務局行き
253号(2024.2.26)

(ペンネームOK)

●地域名

●組合員コード

●お名前

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

https://s-osaka.seikatsuclub.coop/